

BOSHIN DISCLOSURE 2007



平成19年度上半期(平成19年9月末現在)経営情報

房総
信用組合
の現況



房総信用組合

ごあいさつ

皆様には、平素より房総信用組合に格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございました。御礼申し上げます。

本年も、平成19年度上半期の事業内容を収めましたミニディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧いただき、房総信用組合へのご理解を一層深めていただければ幸いです。

今後とも、皆様方のご期待に応えられるよう役員一丸となって業務に邁進して参りますので、一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

会長 岡本 育雄
理事長 白井 和

事業方針

基本理念

房総信用組合は、地域金融機関として、組合を愛する人の和を大切に、地域社会に奉仕することを念願しております。

基本方針

- ・皆（地域の皆様・職員・信用組合）と共に発展する
- ・信用を第一とする
- ・堅実を旨とする

経営情報

平成19年度上半期（平成19年4月1日～平成19年9月30日）における経営情報をお知らせいたします。

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

（単位：百万円、％）

区分		債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D) = (B) + (C)	保全率 (D) / (A)	貸倒引当引当率 (C) / (A - B)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	平成19年3月	2,895	2,595	299	2,895	100.00	100.00
	平成19年9月	3,136	2,807	328	3,136	100.00	100.00
危険債権	平成19年3月	3,298	2,491	463	2,955	89.57	57.42
	平成19年9月	3,730	2,861	531	3,393	90.96	61.20
要管理債権	平成19年3月	1,069	370	143	514	48.13	20.56
	平成19年9月	1,979	473	268	742	37.49	17.82
不良債権計	平成19年3月	7,263	5,457	906	6,364	87.63	50.24
	平成19年9月	8,846	6,142	1,129	7,272	82.20	41.76
正常債権	平成19年3月	55,595					
	平成19年9月	52,899					
合計	平成19年3月	62,858					
	平成19年9月	61,746					

※各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。（以下 同）

（注）平成19年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急処置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の категорияにより分類し、以下の簡便な方法により算出しております。従って、平成19年3月末の計数とは算出方法が異なるため、計数は連続しておりません。

〈平成19年9月末の算出方法〉

1. 債務者区分については原則として平成19年3月末時点における自己査定による債務者区分を基準としております。ただし、4月1日から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事由ならびに内部格付による債務者区分の変更等のあった債務者については、当組合の定める基準に基づく債務者区分見直し後の債務者区分によっております。
2. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額は、債務者区分でいう破綻先及び実質破綻先に該当する債務者に対する債権の合計です。
3. 「危険債権」の金額は、債務者区分でいう破綻懸念先に該当する債務者に対する債権の合計です。
4. 「要管理債権」の金額は、債務者区分でいう要注意先に該当する債務者に対する債権のうち貸出条件を緩和している債権及び3か月以上延滞している貸出債権の合計です。
5. 「正常債権」の金額は、債務者の財務状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権の合計です。

損益の状況

（単位：百万円）

科目	平成19年9月末	（参考）平成18年9月末
業務収益	1,211	1,174
業務費用	1,073	816
業務純益	138	357
臨時収益	0	—
臨時費用	218	156
経常利益	△79	201
特別利益	18	9
特別損失	0	0
税引前当期純利益	△61	210
法人税、住民税及び事業税	1	2
法人税等調整額	0	0
当期純利益	△63	207

単体自己資本比率

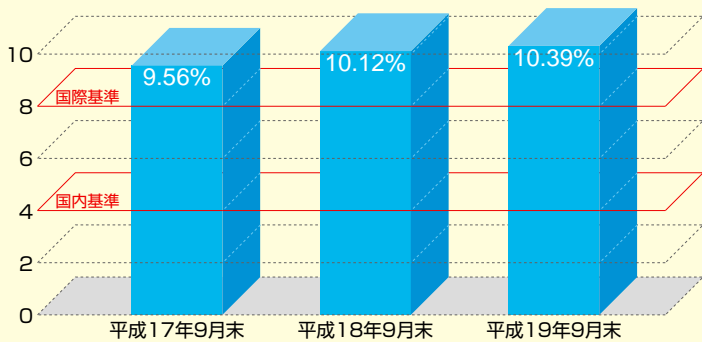
(単位:%)

	平成19年9月末	(参考)平成18年9月末
単体自己資本比率	10.39	10.12

自己資本比率の見方

自己資本比率とは、金融機関の経営の健全性を示す重要な指標であり、貸出金や有価証券等のリスク資産に対して、資本金や引当金等の自己資本の占める割合を表しています。この比率が高いほど、自己資本が豊富にあり経営基盤がしっかりしていると言えます。国内でのみ営業を行う金融機関に対しては4%、国際業務を営む金融機関に対しては8%という基準が定められています。当組合の自己資本比率は10.39%と国内基準を大きく上ると同時に、国際基準も超えています。

自己資本比率の推移



自己資本の構成に関する事項

(単位:百万円)

項目	平成19年9月末	平成18年9月末	項目	平成19年9月末	平成18年9月末
(自己資本)			(リスク・アセット等)		
出資金	661	660	資産(オン・バランス)項目	55,215	67,323
資本準備金	—	—	オフ・バランス取引等項目	963	177
利益準備金	667	667	オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	3,808	—
特別積立金	4,530	4,830	リスク・アセット等計(F)	59,987	67,501
次期繰越金	69	362	単体Tier1比率(A/F)	9.88%	9.64%
その他有価証券の評価差損(△)	—	9	単体自己資本比率(E/F)	10.39%	10.12%
基本的項目計(A)	5,928	6,510			
土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	110	111			
一般貸倒引当金	374	211			
補完的項目不算入額(△)	179	—			
補完的項目計(B)	306	322			
自己資本総額(C) = (A) + (B)	6,234	6,833			
控除項目計(D)	—	—			
自己資本額(E) = (C) - (D)	6,234	6,833			

(注) 金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

平成19年9月期の開示数値は、新自己資本比率規制に対応した数値で、平成18年9月期の開示数値とリスクアセット等の計算方法が相違しております。

預金・貸出金の状況

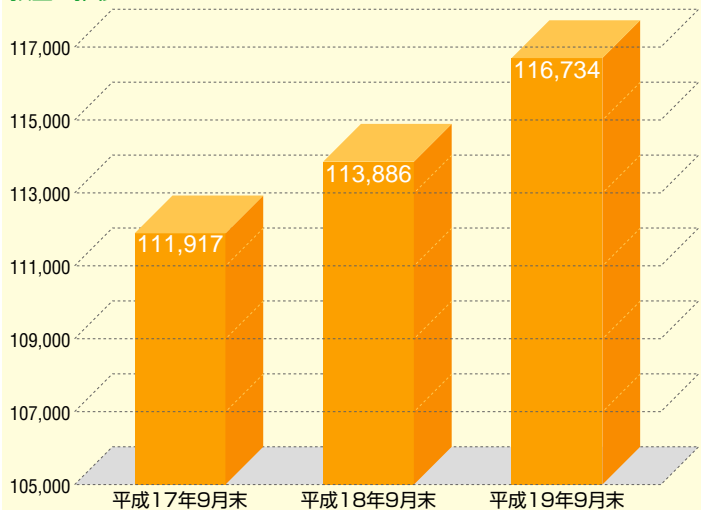
(単位:百万円)

区分	平成19年9月末	(参考)平成18年9月末	区分	平成19年9月末	(参考)平成18年9月末
預金残高	116,734	113,886	貸出金残高	61,427	64,372

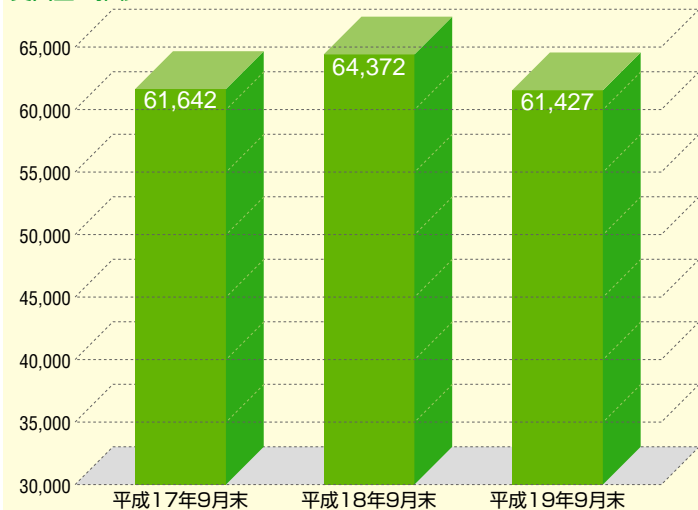
中・小口預金を中心とした預金獲得に努めた結果、前年同期比2,848百万円増加しました。

小口融資を中心に積極的に推進しましたが、資金需要が低迷し、前年同期比2,945百万円減少しました。

預金の推移



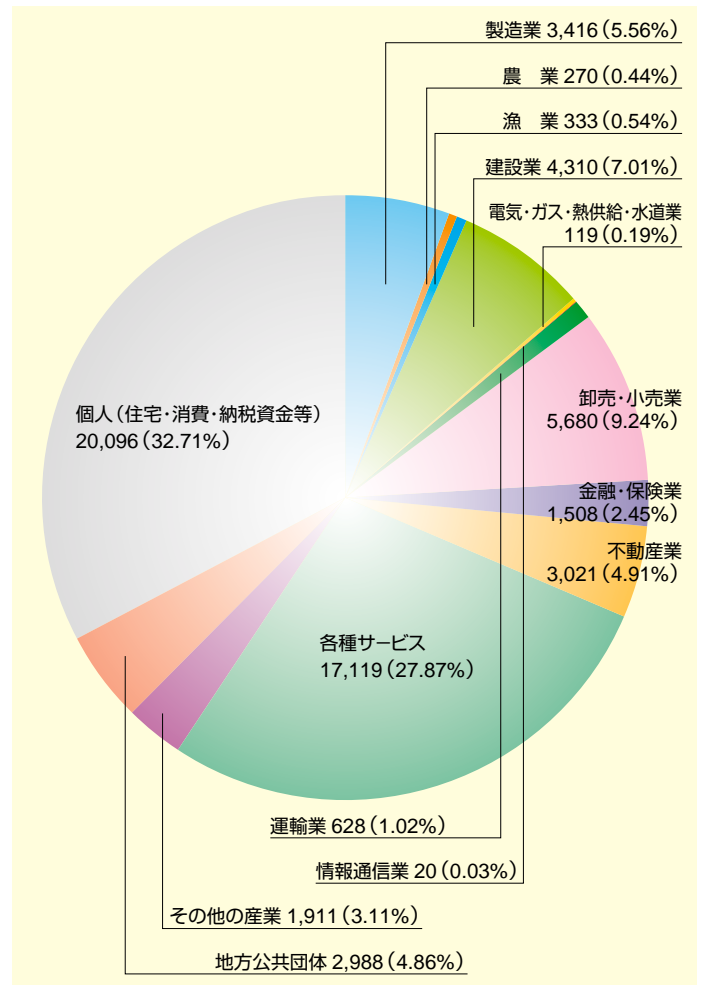
貸出金の推移



貸出金業種別残高・構成比

(単位:百万円、%)

業種別	平成19年9月末		〈参考〉平成18年9月末	
	金額	構成比	金額	構成比
製造業	3,416	5.56	3,464	5.38
農業	270	0.44	254	0.39
林業	—	—	—	—
漁業	333	0.54	361	0.56
鉱業	—	—	—	—
建設業	4,310	7.01	4,879	7.58
電気・ガス・熱供給・水道業	119	0.19	128	0.19
情報通信業	20	0.03	50	0.07
運輸業	628	1.02	545	0.84
卸売・小売業	5,680	9.24	6,083	9.45
金融・保険業	1,508	2.45	1,509	2.34
不動産業	3,021	4.91	3,120	4.84
各種サービス	17,119	27.87	18,133	28.16
その他の産業	1,911	3.11	2,317	3.59
小計	38,341	62.41	40,849	63.45
地方公共団体	2,988	4.86	2,924	4.54
雇用・能力開発機構等	—	—	—	—
個人(住宅・消費・納税資金等)	20,096	32.71	20,598	31.99
合計	61,427	100.00	64,372	100.00



有価証券の時価情報

その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

	平成19年9月末					〈参考〉平成18年9月末				
	取得原価	貸借対照表計上額	評価差額			取得原価	貸借対照表計上額	評価差額		
			うち益	うち損	うち益			うち損		
株式	150	233	82	84	1	154	276	122	125	3
債券	14,831	14,812	△18	87	106	15,729	15,668	△60	80	141
(国債)	2,202	2,206	4	17	13	1,600	1,590	△10	5	16
(地方債)	3,235	3,225	△9	5	15	3,234	3,199	△35	0	35
(社債)	9,393	9,380	△12	65	78	10,894	10,879	△14	74	89
その他	2,267	2,217	△50	13	63	2,418	2,344	△74	10	85
合計	17,248	17,262	13	184	170	18,302	18,289	△13	216	229

満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位:百万円)

	平成19年9月末					〈参考〉平成18年9月末				
	貸借対照表計上額	時価	評価差額			貸借対照表計上額	時価	評価差額		
			うち益	うち損	うち益			うち損		
外国証券	3,200	2,937	△262	0	263	3,200	2,995	△204	0	204
国内債券	99	101	1	1	0	99	100	0	0	0
合計	3,299	3,038	△261	1	263	3,299	3,095	△204	0	204

地域貢献に関する情報

1. 地域貢献に関する経営姿勢

当組合は、茂原市から鴨川市までの外房地域一帯を営業地区とし、地域の事業者や住民が組合員となり、お互いに助け合い発展していくという相互扶助の理念に基づき運営されている協同組合組織の金融機関です。

組合員、お客様一人一人の顔が見えるきめ細かな取引を基本としており、常にお客様の事業の繁栄や生活の質の向上に貢献するため、組合員の利益を第一に考えることを活動の基本としております。

また、地域社会の一員として、当組合の経営資源を活用し、地域社会の生活の質や文化の向上に積極的に取り組んでおります。

2. 預金を通じた地域への貢献

当組合は、組合員をはじめとする地域のお客様の着実な資産づくりを支援するために、目的や期間に応じた各種預金・積金をご用意しております。平成19年9月末現在、1,167億円の預金をお預りしています。

3. 融資を通じた地域への貢献

当組合は、営業地区内で調達した資金（預金）を地区内の事業者や個人のお客様に対して円滑に供給（貸出）することにより、地域経済の活性化に努めることが最大の地域貢献と考え、積極的に融資業務に取り組んでおります。

(1) 貸出先数・金額（平成19年9月末現在）

区分	先数(先)	貸出残高(百万円)	内訳(百万円)
事業者	1,378	38,341	(設備資金) 19,520 (運転資金) 18,820
個人	5,066	20,096	(住宅資金) 11,176 (消費者ローン) 1,116
地方公共団体	9	2,988	
合計	6,453	61,427	

(2) 地方自治体の制度融資の取扱状況

当組合は、千葉県や茂原市など地区内各市町村の中小企業向け制度融資の取扱窓口指定されており、平成19年9月末現在、716件、3,085百万円のご利用を頂いております。

制度の名称	取扱件数(件)	貸出残高(百万円)
千葉県事業振興融資資金	357	1,524
千葉県その他制度融資資金	48	333
千葉県短期運転資金	130	621
市町村等制度融資	181	607
合計	716	3,085

(3) 当組合の融資商品の概要

当組合では、事業者や個人の資金ニーズにお応えするため、次のような融資商品を取り扱っております。

① 事業者向けご融資

種類	概要
証書貸付	主に設備資金などをご利用いただく長期のご融資です。
手形貸付	主に運転資金などをご利用いただく短期のご融資です。
手形割引	一般商業手形の割引です。
当座貸越	一定の貸越極額まで自由にご利用いただける当座預金の貸越契約です。

② 個人向けご融資

種類	資金のお使いみち	ご融資金額(上限)	ご融資期間(最長)	担保・保証
住宅ローン	住宅の新築・増改築・購入	6,000万円	35年	不動産・保証人または保証会社
オートローン	自動車等の購入・車検・免許取得費用	500万円	7年	保証会社
カーライフローン	自動車等の購入・車検・免許取得費用	500万円	8年	保証会社
カーライフローン・レポート	自動車等の購入・車検・免許取得費用(お取引のあるお客様向け)	500万円	7年	保証会社
カードローン	事業資金以外の健全な消費資金	300万円	3年(自動更新)	保証会社
スーパーカードローン	事業資金以外の健全な消費資金	70万円	3年(自動更新)	保証会社
多目的ローン	商品・サービス代金の支払い	300万円	7年	保証会社
目的ローン	事業資金、旧償返済資金以外で資金使途が明確な資金	500万円	7年	保証会社
フリーローン	事業資金、旧償返済資金以外の消費資金	300万円	5年	保証会社
教育ローン	教育資金全般	200万円	10年	家族保証
進学ローン	入学金・授業料・下宿代等の支払い	300万円	10年	保証会社
シルバーライフローン	健康で、文化的な生活を営むための資金	100万円	5年	保証会社
ビジネス・スモールローン	運転資金、設備資金等の事業資金(個人事業主の方専用)	300万円	5年	保証会社

地域貢献に関する情報

4.取引先への支援状況

当組合は、地域経済の活性化・振興への貢献活動として、創業・新事業支援や要注意先等に対する経営改善指導、事業再生支援などに取り組んでいます。

(1) 創業・新事業支援

新規・独立開業や、取引先企業の新分野進出に対する資金ニーズについては、当組合のプロパー融資や政府系金融機関の代理貸付、地方自治体制度融資などの利用により対応しております。

現在、創業・新事業支援機能を更に強化するため、企業の将来性や技術力を的確に評価できる人材の育成、政府系金融機関との連携や(財)千葉県産業振興財団の活用などに取り組んでいます。

(2) 要注意先等のランクアップへの取組み

要注意先債権等の健全債権化及び不良債権の新規発生防止を図るため、経営支援委員会を発足させ、経営改善の可能性のある取引先を選定し、経営改善指導等の支援を行っております。

(3) 事業再生支援

取引先企業の早期事業再生を図るため、経営改善計画の策定を求めたり、貸出条件の緩和などの金融支援を行い、過剰債務の解消・再生に向けて取引先企業と協調して取り組んでいます。

現在、経営相談・支援機能の強化や、事業再生支援に関する人材の育成、千葉県中小企業再生支援協議会や(社)中小企業診断協会千葉県支部との連携など、企業の再生に向けた取組みを積極的に行っております。

5.地域へのサービスの充実

当組合では、地域の皆様への感謝を込めた企画や、ご利用者の利便性向上に努めています。

特に、ご高齢のお客様には色々な特典をご用意しています。

- ・懸賞金付普通預金(年金口座)「心づくし」
- ・懸賞金付定期預金「福 運」
- ・優遇金利+懸賞品付定期預金「100歳100歳」
- ・年金友の会旅行…毎年1回、1泊2日で温泉をメインとした旅行を企画しています。

そのほか、経営相談やファイナンシャルアドバイザーによる資産運用相談などの相談業務に力を入れております。

営業地区内店舗数 … 16店舗、 ATM設置台数 … 21台

6.文化的・社会的貢献活動

当組合は、金融業務を通じた地域貢献だけでなく、色々な分野で地域のお役に立ちたいと考え、たとえば次のような活動を行っております。

- ・ごみゼロ運動…全職員が各店別に毎月1回の早朝路上清掃活動を行っております。
- ・ゲートボール大会…地区内から70チーム、約400人が参加する大会を毎年開催しています。(別に地区別大会も行っています。)
- ・ぼうしん友の会海外旅行…平成19年7月4日～7月11日にかけて「エーゲ海クルーズ」8日間の旅を実施し、古代文明と神話の世界を堪能していただきました。

そのほか、茂原七夕まつり、一宮かずさ祭りへの参加や、各地区で行われる商工祭や催事を積極的にお手伝いしております。



ぼうしんゲートボール大会



ぼうしん友の会海外旅行:エーゲ海クルーズ8日間の旅

7.休日融資相談会の開催

お仕事などの都合で平日にご来店いただけないお客様のために、休日融資相談会を毎週日曜日及び祝日(但し、1月1日～3日、5月3日～5日を除く)に開催しております。事業資金や個人ローンを中心に様々なご相談をお受けしますので、お気軽にご相談下さい。

なお、事前にご予約の受付もいたしております。

相談窓口：本店(茂原市高師町1-10-5)

予約連絡先：0475-22-6111

開催時間：午前10時～12時、午後1時～4時

◆相談・苦情窓口 相談・苦情受付ホットライン フリーダイヤル **0120-940-339** までお願いします。

地域密着型金融推進計画 (平成19年4月～21年3月)

I. 基本計画

当組合の地域密着型金融推進計画は、限られた営業地域で組合員の方々を対象とし相互扶助の精神に則って金融業務にあたる「信用組合」の特性を十分踏まえて立案しています。

すなわち、地域経済の発展、組合員の事業の繁栄、豊かな家庭生活のお手伝い、という信用組合の基本的な目的を前提とし、地域経済の活性化を総合的に図っていくこと、地域に根ざした密度の濃いコミュニケーションをベースに、新しいビジネスモデルも含めた金融仲介機能の拡充、収益力強化による金融機関としての健全性維持向上、積極的な情報開示等広報活動を通じた理解度信頼度の向上等に重点を置いた計画としました。

II. 項目ごとの推進計画

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

項番	項目	取組方針及び目標	具体的取組策とスケジュール	
			19年度	20年度
(1)	企業の成長段階(ライフサイクル)に応じた審査機能、各種手法の活用	①創業、新事業支援 ・融資審査能力の向上 地域に密着した営業活動に基づく、将来性のある案件の発掘・育成のための体制強化 ・起業・事業展開に資する情報の提供 (財)千葉県産業振興センター等の活用による創業・経営革新等に関する情報の提供等 ・創業・新事業の成長段階に応じた適切な支援 政府系金融機関等との情報交換・連携強化による支援等 ②経営改善支援 ・中小企業に対するコンサルティング機能及び情報提供機能の強化 各種団体・専門家との連携強化による相談・情報提供活動 ・要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化 キャッシュフローのモニタリング、融資審査体制の強化等により、不良債権の新規発生防止、財務諸表分析・信用格付による経営改善指導、要注意先債権等の健全化に努める。 ・健全債権化等の強化に関する実績の公表 経営改善支援先に対する本部と営業店の連携による支援策の強化	・審査能力向上、創業・新事業に関する研修 ・個人信用格付の準備 ・(財)千葉県産業振興センターを活用した情報提供 ・政府系金融機関との情報交換、協調融資の推進 ・信用保証協会の利用による創業・新事業に対する融資推進 ・(社)中小企業診断協会千葉県支部との連携による経営、財務等の改善に対する支援	・前年度の実績を検証し、結果を踏まえた効果的な施策を展開する。
(2)	単なる金融支援ではなく事業そのものを再生する取組み	①事業再生支援 ・中小企業の過剰債務の解消や社会のニーズの変化に対応した事業の再構築 ・中小企業再生支援協議会、千葉県再生ファンドとの連携、活用	・各種団体・専門家との連携強化による相談・情報提供活動の立案、実施 ・経営改善支援実施先47先の個別健全化策の立案、実践 ・融資先のキャッシュフロー分析の実施	・前年度の実績を検証し、結果を踏まえた効果的な施策を展開する。 ・経営改善支援実施先47先の個別健全化のフォローアップ ・経営改善支援先の改善状況実績の公表

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

項番	項目	取組方針及び目標	具体的取組策とスケジュール	
			19年度	20年度
(1)	不動産担保、個人保証に過度に依存しない融資手法	①不動産担保・保証に過度に依存しない融資の推進 担保・保証に過度に依存しない、新型の事業者ローンの商品化を図る。 ②第三者保証が過度にならないように整備を図る。 財務制限条項とスコアリングシートの活用等による、新型ローンの商品化を図る。	・新型の事業者ローンの商品開発 ・スコアリングシートの活用による 新型ローンの研究	・前年度の取組結果を踏まえた効果的な施策を展開する。
(2)	目利き能力の向上と、公的金融や信用保証制度との役割分担	①企業の将来性や技術力を的確に評価できる人材の育成 中央機関や関係団体等が開催する当該研修への参加 ②財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対する融資の推進 信用保証協会等との連携により、保証制度の活用及び推進	・中央機関や関係団体等が開催する当該研修への参加 ・公的金融、信用保証制度の活用及び推進	・前年度の取組結果を踏まえた効果的な施策を展開する。
(3)	市場型間接金融手法の活用など、多様な資金供給手法の提供	①中小企業の資金調達手法の多様化を図る。 千葉県版CLO、売掛債権担保、シンジケートローン等、中小企業の資金調達方法の支援に努める。	・信用保証協会の流動資産担保融資保証制度(ABL保証)の活用を検討	・前年度の取組結果を踏まえた効果的な施策を展開する。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項番	項目	取組方針及び目標	具体的取組策とスケジュール	
			19年度	20年度
(1)	地場産業や中心市街地の空洞化等の問題を踏まえた地域経済の活性化	①地域再生推進に向けた各種施策との連携等、地域活性化に向け地域と一体となった取組み 地元の取引先からの情報、行政や商工団体等からの情報収集に努め、そのネットワークを拡げ地域外の専門家、専門機関との連携を図り地域再生に向けて積極的に取り組む。	・上部団体の検討結果を踏まえ他金融機関と当組合の取組状況を比較検討し、開示項目・方法の見直しを行う。 ・地域再生施策に関する情報収集に努め、参画、協力態勢を整える。	・地域再生支援として参画できる施策について検討し、積極的に取り組む。
(2)	事業性貸出に留まらない、地域住民に対する多様な金融サービスの提供	①地域の利用者のニーズに対応した多様な金融チャネルの提供による事業性貸出に留まらない金融サービスの提供	・webローンの採用、あのねツトの活用(ライフプランニング)を検討する。	・前年度の取組結果を踏まえた効果的な施策を展開する。

「地域密着型金融推進計画(平成19年4月～21年3月)」は、各営業店に備え置くと共に当組合ホームページに掲載しています。

<http://www.boshin.shinkumi.jp>

BOSHIN DISCLOSURE 2007

店舗一覧表

店名	住所	電話	FAX
本部	茂原市高師町1丁目10番地5	0475(22)5111	0475(23)9777
本店	茂原市高師町1丁目10番地5	0475(22)6111	0475(22)6112
本納支店	茂原市本納1773番地	0475(34)3302	0475(34)3318
一宮支店	長生郡一宮町一宮3089番地	0475(42)2061	0475(42)2071
長南支店	長生郡長南町長南2474番地の4	0475(46)1159	0475(46)1303
夷隅町支店	いすみ市苅谷189番地の1	0470(86)2150	0470(86)3689
町保支店	茂原市町保42番地の22	0475(24)2321	0475(25)4800
岬支店	いすみ市岬町長者183番地の1	0470(87)2214	0470(87)7696
大原支店	いすみ市大原9231番地の3	0470(62)2225	0470(63)1807
白子支店	長生郡白子町五井1708番地の1	0475(33)3612	0475(33)3594
岬東支店	いすみ市岬町椎木1781番地3	0470(87)3166	0470(87)5971
茂原支店	茂原市茂原347番地	0475(24)3335	0475(24)3337
鴨川支店	鴨川市横渚885番地の1	04(7092)1221	04(7093)1277
天津小湊支店	鴨川市天津1212番地の4	04(7094)0173	04(7094)0159
長狭支店	鴨川市松尾寺435番地の6	04(7097)1131	04(7097)1130
勝浦支店	勝浦市勝浦28番地の1	0470(73)0025	0470(73)0099
御宿支店	夷隅郡御宿町須賀450番地の6	0470(68)2731	0470(68)2115



房総信用組合

〒297-8611 千葉県茂原市高師町1-10-5

TEL:0475-22-5111

<http://www.boshin.shinkumi.jp>